

Gard Alert

紅海/アデン湾航行に関する新ガイダンス

こちらは、英文記事「[New guidance for Red Sea/Gulf of Aden transits](#)」(2017年7月25日付)の和訳です。

紅海およびアデン湾を航行する船舶は、航行に際して警戒態勢を強めるとともに、バブ・エル・マンデブ海峡周辺の通航は夜間に限定するようにしてください。



[2017年3月29日付](#)、[2017年1月30日付](#)、[2016年10月14日付](#)の各 Alert についての続報です。

連合海上部隊 (Combined Maritime Forces [CMF]) は、2017年7月16日に紅海およびアデン湾を航行する船舶に対する新しいガイダンスを発表しました。CMF のプレスリリースでは、イエメンにおいて継続中の内戦に言及されており、バブ・エル・マンデブ海峡の進入路で最近発生した2隻のタンカー船に対する攻撃について強調されています。2件の攻撃はともに白昼に小型ボートを用いて行われたものです。CMF では、商船がイエメンの内戦の攻撃目標になる可能性は低いと見ている一方で、商船が巻き添えになって多大な被害を受けるリスクがあることを強調しています。

CMF のプレスリリースは[こちら](#)から入手可能です。紅海およびアデン湾を航行する場合、以下の推奨事項を考慮した上で航海計画を立てるようにしてください。

- アデン湾から紅海へと北方向に通航する船舶は、アデン湾の東経 44.00 度から紅海南部の北緯 13.00 度の間の海域を夜間に通航し、日照時間内にハニーシュ群島の西で分離通航方式エリアを退出するようにしてください。
- 紅海からアデン湾へと南方向に通航する船舶は、紅海南部の北緯 13.00 度からアデン湾の東経 44.00 度の間の海域を夜間に通航するようにしてください。
- アデン湾およびバブ・エル・マンデブ海峡を通航するすべての船舶は、最大限可能な範囲で [BMP4](#) のガイダンスに従うようにしてください。

イエメンにおける Gard のコレスポンデントである Gulf Agency Co. Ltd. (GAC) からの情報によれば、イエメンの主要港のほとんどは操業中であるとのこと。イエメン諸港に寄港する船舶に適用される入港条件に関するガイダンスについては、Gard ウェブサイトの「[Yemen – port situation](#)」(2017年7月25日更新)を参照してください。ただし、イエメンでの状況は依然として不安定であり、港の安全性や稼働状況は随時変更となる可能性があります。そのため、現地当局、船舶代理店、Gard のコレスポンデントなど現地の情報源へ頻繁に問い合わせを行い、最新かつ信頼性の高い情報を入手した上で安全状況を評価するようにしてください。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。